

業界ダントツNo.1 FAX機械情報

全国5,000ホール配信

無断での転載は
お断り申し上げます。

号外版

データ
コンパス

COMPASS

2014/1/1
第2号GLOBAL
Amusementグローバルアミューズメント株式会社
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-12-2 クロスオフィス渋谷8FTEL 03-6805-1028
FAX 03-6805-1029

～さあ、生き残り試験がはじまったぞ!!～

2014年、目指してほしい3つのポイント

グローバルアミューズメント株式会社
代表取締役 青山 真将樹Hondaのマーケティングプロジェクトリーダーとして新商品の開発企画に従事。
企画商品は「日本カーオブザイヤー」、「日経新聞大賞」など各賞を獲得。2007年、とあるコンサル会社に入社。在籍6年9か月で4度の
「年間最多コンサルティング受注」を獲得、現役最強トップコンサルタントとして突出した
存在となる。2013年12月、パチンコ・パチスロの機械評価・市場分析に特化した、
コンサル&シンクタンク会社グローバルアミューズメント株式会社を設立。
現在、ホール&メーカーの双方から支持される業界唯一のコンサルタントであり経営者。
(雑誌 PIDEAにて“データDYNAMITE High School”を好評連載中)社
長
青
山

皆様、あけましておめでとうございます!!

グローバルアミューズメント株式会社 代表取締役 青山真将樹です。元旦からお勤め
されている皆様に向けて、今年最初の「データCOMPASS号外」をご送付させていただきます。本日は業績アップのために実践してほしい「2014年、目指してほしい3つのポイント」につい
てお伝えさせていただきます。年間を通した営業戦略の“重点項目”として実践してください。
宜しくお願い申し上げます。

■偏差値70の“生き残り試験”が始まったぞ!! “基礎徹底”と“反復”が、合格へのパスポートだ!!

ここ数年間の市場環境の悪化は、“世の中”や“プレイヤー”のせいではありません。ちょっと
苦戦すると、パチンコホールとしての地力アップを放棄し、低玉等の売上低下施策、バラ
エティ戦略、入替低下を啓蒙する営業方針等、「お客様視点で、または経営視点でやって
はいけないこと」に次々に手を染めていった業界人による“自滅の数年間”であったと私は
考えています。ここから先は自滅行為を止められない多数派の人達と決別し、基礎徹底と
反復をやり切れる“少数派のパチンコエリート”にならなければ会社も、お店も、あなたもこの
業界でハッピーに生きていくことはできません。次にお伝えする「2014、目指してほしい3つ
のポイント」はいずれも多数派が流されていくであろう“自滅の道”と決別できる取り組み項目だと考えています。2014年のスタートである本日、社長・部長・店長、それぞれの立場で
以下をどれくらい実践できるかについて考えてみてください。

ポイント①:機械回転率は年間1.3回転以上は必須!!

なるべく1.7回転に近づけるように少しでも上げていこう!!

稼働・売上・収益の低下をもたらしている主要因は「機械回転率の低下」です。特に
3番店、4番店等の中堅店以下の回転率低下が“商圈全体の活動量低下”と“1番店・2
番店への顧客集中”に繋がり、市場全体の格差を拡大させていると分析しています。装置
産業であるにも関わらず、目先の投資を惜しんで「入替は少ない方が業績が上がる」など
と意味不明な話を支持する“パチンコIQが低い業界人”が未だ多いですから、今年も“入
替低下を啓蒙するダメな意見”は依然として続く想定されます。業界人が一時的気休め
でそんな話を支持しても、プレイヤーは容赦してくれません。入替が減ったら、ホールに来
なくなるだけです。稼働・売上・収益の3点で健全なホール運営を目指したいなら回転率は
年間で1.3回転以上を目指してください。予算的に厳しければ見栄を張らず、安価中古機、
リユース機、低価格機などの比率を上げて回転率重視の入替を年間を通じて実践して
ください。回転率が低下すると“超低稼働放置台”の比率が上がり、定番機と新台に負担
がかかり、ドンドン悪循環に陥ってしまいます。ちなみに高稼働をキープしている1番店など
は年間1.7回転以上のお店が多いのが実状。1.3回転以上をクリアしているお店は1.7回転
超えを目指し、回転率アップに臨んでください。

ポイント②:低玉設置比率30%以内が収益安定の必須要件!!

チェーン店等、大手が戦略的・効率的に低玉店運営している場合を除き、低玉中心の
ホール運営が収益性を向上させることは今後ありません。元来、低玉等の低価格戦略は
スケールメリットが発揮できる大手優位の戦略です。業種を問わず、中堅以下のお店は
“安売り商売”に絶対に勝てません。地域のお店が根絶やしになった家電業界の事例や、
セルフスタンドの登場で大手の寡占化が加速したガソリンスタンド業界の事例等、異業種
の事例をスタディする限り、パチンコ業界の中堅以下店にだけラッキーが訪れることは、ま
ずありません。4円部門の安定稼働のためには、低玉部門は設置比率で30%以内に留める
ことが正しい考え方です。設置比率30%以上低玉部門を持つと、着座客数が低玉>4円
となるケースが多くプレイヤーに「低玉主体の店」と認識されてしまいます。一度、低玉主体
の店になってしまうと4円部門の客数は一気に減り、収益性が急激に悪化してしまいます。

低玉専門店として生きることを決めた店を除き、2014年は大型機械を導入するタイミングで少しずつ低玉比率を下げる施策にチャレンジしてください。新設高単価部門は平均稼働レベルを維持すれば売上・収益に多大な貢献をします。見栄を張らず実利を取るためには“さして高稼働でもない、儲からない低玉部門”にはさっさと見切りをつけてください。

ポイント③:特に、4月～G.Wは『活動量UP』で施策を増やしてください。

消費税率変更懸念から「4月以降、更に稼働が低下するのでは？」という意見が業界の主流を占めていますが、業界の過去を振り返ると、個人消費が停滞気味の時期は、稼働は比較的高調。つまり、「消費が停滞気味の方が業界にお金が回ってくる」と考えた方が説明力が高いと思います。但し、現状の状況を見ると、業界内の悲観論に影響を受け、事業主側（ホール企業）が活動量を低下させ、業界全体の活動量不足で稼働が低下する可能性は高いと想定しています。多数派は、全体稼働が低下すると更に悲観論に影響を受け、ドンドン悪循環に入っていくと予想しています。偏差値70以上の合格組を目指す皆様は、他が怠ける期間だからこそ、例年の4月～G.W同様、施策を増やし“他を出し抜いて”、自分のお店だけ業績を伸ばせるように、今から準備を進めてください。

全国の社長・部長・店長!! 2014年はメチャクチャ勉強して、パチンコIQをグリーンと高めよう!! 生き残るためには偏差値70以上が必要。ほとんどの知り合いは落ちこぼれてしまうけど、あなただけは絶対に合格しよう!! 最後までお読み頂きありがとうございました。

**超多数のお申込み
ありがとうございます!!**
**【設立記念 無料配信】
お申込継続受付中!!**

送信方向

FAX (03) 6805-1029

まずは、お申込用紙を記入してFAXを送信!!



新機種プレイヤー期待値データ

データCOMPASS本編

(パチンコ版&パチスロ版)

無料配信 お申込用紙

会社名 (必須)			
会社住所 (必須)			
お名前 (必須)		役職 (必須)	
電話番号 (必須)		FAX番号 (必須)	
メールアドレス (必須)			

無料配信期間は2014年1～3月となります。

※パチンコ版 1月8日頃、2月初、3月初

パチスロ版 1月中旬、2月中旬、3月中旬 計6回のメール配信となります。

お申込者様の同意無く、有料サービスに切り替えることは
ありません。経費枠の無い方でも安心してお申込みください。